



大山たか子通信

# 高ちゃんつうしん

\* 2012.2 No.35 \*

市議会：087(839)2831 自宅：087(888)3272  
eメール：takachan@mxi.netwave.or.jp HP：http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



今年は辰年！辰年は過去の歴史からも変化の時代とも言われていますが、厳しい時代の中でも、自身が主体となって良い変化に昇り龍の如く！！



昨年の悲しい教訓を必ず生かしていき、高松市の防災対策をしっかりと進めていく。特に防災から復興までに女性の役割を重視し、取り組んで参りたい。アンワルル チョウドリ元国家事務次長は、「女性が関わることに



よって『平和の文化』は、より強靱な根を張ることができる。」「女性が取り残されるところに、本当の意味での世界平和はないことを忘れてはいけない。」とされています。女性は、子どもと高齢者の視点を持ち、地域のことでも良く知っています。

女性の持つ様々な特性を生かし、防災だけではなく、地域の活性化にもその声を生かしていきたいです。

今年もよろしくお願いします。



## 1月2日瓦町駅前にて新春街頭演説

毎年恒例の瓦町駅前での山本参議院議員、県会議員、高松市会議員の総勢9名で新春街頭演説を行いました。寒さはありましたが、議員となってもずっと続けていますが、これをしないと新年のスタートができません。

午後1時からの式典に先立ち、サンポート前にて石田衆議院議員、



県会議員、高松市会議員で街頭演説を行いました。若い人々たちにとって一番の重要課題は、雇用環境を整え、将来の日本に希望が持てるようにすることなど...でしょう。政治家がやらなくてはいけないことを真剣に取り組んで参ります。皆さんの晴れやかな姿を見て、また新たに決意しました。



## 1月9日サンポート前にて成人式街頭演説

### \*11月30日に高松市議会公明党議員会として、市長へ24年度予算編成に関する要望書を提出しました\*

要望書では、最重要課題として①コミュニティを軸とした協働のまちづくり②防災対策の着実な推進③健康で生きがいのある総合福祉対策などを柱に、134項目を提言しました。特に、被災者支援システムの導入や防災マップの更新、防災士・防災リーダーの育成、ユニバーサルデザインのまちづくり、地域見守り体制の構築・強化、など具体的な対策を求めました。



## 香川県がん対策条例制定において、がん患者会「おしゃべり会」と懇談をする。

香川県がん対策推進条例が昨年10月に施行され、県会議員と一緒にがん患者会「おしゃべり会」の二島会長らと懇談会を行いました。香川県はがん対策推進条例が四国で唯一制定されてなくて、患者会の方々から何とか制定してほしいとの要望をいただけており、やっと公明党の県会議員が主導で制定することができました。条例は、がん対策を進める根幹となるもので、制定の意義は大きく、二島会長からも「私達の話をしつくり聞



いて受け止めてくれたのは公明党の議員。患者のために具体的な施策が実現することを期待したい」と言われました。

また、県内に九つある患者・家族会同士の連携強化とともに、患者や家族への支援拡充、医師の説明を分かりやすく伝えてくれるサポート制度の導入などの要望をいただきました。

## がん検診時に託児サービスを試験的に行いました。



高松市は、乳がん・子宮がんの検診時に無料で子供を預かる託児サービスを試験的に行いました。私は、平成22年12月定例会で「女性の命を守るため、託児付きがん検診の実施」を訴えて参りましたが、今回それが実現することとなりました。

1月14日に高松市保健センターで行われた乳がん・子宮がん検診で託児を利用した方からは、「託児所があるので気軽に受診することができた。本当に助かりました」と喜んでいただきました。今後、高松市で受診者のアンケート結果を見て、本格導入を検討することとしています。

またこの日の検診には、受診者の待ち時間を活用して、肩こり・腰痛を解消するリラックス体操も行いました。これは、私の友人である高松中央ライオンズクラブの一員であるピラテス・ヨガのインストラクターの築瀬さんをお願いして行ったものです。

築瀬さんは、一人でも多くの方々が、検診を受けに来て下さるきっかけになればと喜んで引き受けていただきました。今後も受診率向上の為にいろんな方々のお力もお借りして、しっかり取り組んで参ります。





## 不育症対策が進みました！！



妊娠はするけれど流産を繰り返す不育症は、原因は様々ですが、適正な検査と治療を行うと、8割以上の確率で出産ができることが分かっています。しかし、それには保険適用外の治療を行う場合が多く、経済的な負担が壁となっています。

この経済的な負担に対して何とかしてほしいという要望が各地域であり、その声は公明党の国会議員に届けられ、21年11月の参議院予算委員会で不育症への公的助成実施を訴えました。この質問をきっかけに、専門家を講師に招き不育症に関する勉強会を開催。また全国各地の公明党の議員が地方議会で公的支援を訴え、自治体独自の支援を求めるなど党を上げて対策に取り組んでまいりました。（私も22年9月議会で不育症を取り上げ、情報提供と公的支援を訴えました。）その後も政府への強い訴えを起こし、やっと24年1月1日から、血栓ができやすい体質が原因とみられる不育症患者に対するヘパリンの在宅自己注射への保険適用が始まりました。ただまだこれは対策の第一歩ですので、今後も不育症に関する理解を広げ、さらなる公的支援を訴えて参ります。

※不育症とは…妊娠が困難な「不妊症」とは異なり、妊娠はするけれど流産や死産を、繰り返す症状をいいます。厚生労働省研究班では、「2回連続して流産・死産があれば不育症と診断する」と定義されています。患者は全国で推定140万人に上る。



あっちこっち高ちゃん

\*10月28日\* 公明党全国女性局長会に参加する。



松あきら副代表と一緒に



古屋女性委員長と一緒に

\*11月26日\*

公明党香川県本部女性局主催のウィメンズ大会を開催する。



\*平成24年1月14日\*

高松中央ライオンズの一員として献血勧奨のお手伝いをする。





寺井町の水路への転落防止の  
為に、デリネーターを設置  
できました。



昨年7月、党員の平岡さんから、寺井町の道路横にある水路に転落する危険があるので、何とかしてほしいとの要望をいただきました。（既に何度も子どもが落ちたり、車を落とし込んだりしたそうです。）現場を見て担当課にも相談をしたところ、深さが1.5メートル以下であったため、ガードレールの基準とはならなかったのですが、デリネーター〔反射器〕を取り付けることができ、地元の方々には大変喜んでいただきました。



由良町の水路へ転落防  
止の為に、ガードレ  
ールを設置できました。




昨年、岩本さんから、夜中水路に車が落ち込んで、近隣の方が力を合わせて車を持ち上げたとお話があり、今後も危険なので何とかしてほしいとのご要望をいただきました。現場を見たところ夜になると周りが真っ暗になり、水路が見えずにまた落ち込む危険があるということで、ガードレールを設置することができました。

平成19年の11月からN・ニューリバーというグループを立ち上げて、山崎橋の下の新川の清掃を始めてより5年目を迎えました。



県のリフレッシュ香の川パートナーシップ事業に申請し、毎月第四日曜日に空き缶やごみの回収、また草刈りをして近隣の方々の憩いの場を提供できればと始めました。党员さんと力を合わせ、地道に続けています。時には、白鳥や鴨などを見ることもあり、水辺の生き物たちにとってもいい環境になればと思います。

編集後記

東京では今・・・

首都直下型地震に対しての防災準備をする方が増加しているようです。『居安思危 思則有備 有備無患』（やすきにありて、あやうきをおもう おもえばすなわちそなえあり そなえあれば、うれいなし）これは中国の故事からの出典で、平時の時から危機管理の重要性を説いたものですが、南海・東南海大地震を想定して、私達もいざという時の為に自分のできる精一杯の防災準備をすすめてみましょう。